

事業番号	02 05 09	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費				担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	交通政策課	
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 1 公共交通網の確保				E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	S53 ~		

1 事業の概要

目指す姿	地域における鉄道を中心とした地域の活性化のための取組に参画し、鉄道事業者が行う安全性向上や駅舎のバリアフリー化のための設備等の整備に対して支援を行うことにより、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道路線の維持と機能の向上をめざす。 成果目標：鉄道の営業キロ数750.2km(H24) → 780.1km(H29)
------	---

現状（予算編成時）	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられている。 ○しかしながら、少子高齢化やモータリゼーションの進展などの影響により旅客輸送人員が減少し、鉄道事業者の自助努力のみでは県内鉄道路線を維持し、駅舎のバリアフリー化など時代の新たな要請に対応してサービス向上を図ることが困難となっている。
-----------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	国・沿線市町村と協調し、県が主体的に取り組む必要がある。 (地域鉄道安全性向上事業費補助金交付要綱)

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	○県内の鉄道路線の営業キロの維持。【成果目標：780.1km】 ○県内の鉄道駅におけるエレベーター等のバリアフリー化設備の整備。【成果目標：17駅(利用者数3,000人/日の駅)】					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道事業者(JRを除く。)が行う路線の安全性向上のために必要な設備整備に対する補助	92,336	167,638	169,948
2. 利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーターの設置に対する補助	20,000	20,000	20,000	
3. 大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	150	150	150	
4. 中央東線高速化促進広域期成同盟会	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	200	200	200	
合計			112,686	187,988	190,298	

事業コスト	区分(単位：千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	164,164		111,531	51,986
	当初予算	123,086	171,328	112,686	190,298
	補正予算	-4,143	76,421	20,992	
	合計(A)	283,107	247,749	245,209	242,284
	一般財源	146,107	191,749	223,199	208,254
	県債	127,000	56,000	22,000	34,000
	国庫支出金	10,000			
	その他	0	0	10	30
	決算額(B)	272,404	136,218	187,988	
概算職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	
概算人件費	4,955	4,955	4,966	4,966	
概算事業費(B(A)+C)	277,359	141,173	192,954	247,250	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
県内鉄道キロの維持	780.1km	780.1km	780.1km	達成	780.1km
重大事故の発生	0件	0件	0件	達成	0件
エレベーター等設置駅数	16駅	17駅	17駅	達成	18駅

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。 鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。 長野電鉄信州中野駅にエレベーターが設置され、利用者の利便性向上に寄与した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	地域鉄道を取り巻く経営環境が極めて厳しい中、安全な輸送サービスを継続的に提供できるよう、地域鉄道事業者が実施する設備整備を、国や沿線自治体と協調して支援していくとともに、同盟会の活動等を通じ利用促進を図っていく。